

令和3年度 実施報告書(モデル的事業)

1. モデル的事業名	まち協運営活性化事業		
2. 事業名	空町まち協運営活性化事業		
3. 事業期間	平成30年～令和3年	4. 事業進捗率	85%
4. 目的	<p>人口減少や高齢化によって町内会の維持や役員の選出が難しい。またまち協役員は1年交代のため新役員は予備知識や情報が無い中、年度当初に新年度の事業計画等を計画立案しなければならない。そのため、前年度事業を踏襲する事が通例となり、新規事業の提案、既存事業の改善、組織改革等を行うことは非常に困難となっている。</p> <p>本事業では、平成30年度の設置した「企画・支援チーム」により、組織体制や事業の見直しを図り、役員の専従化についても検討する。</p>		
5. 事業実績	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画・支援チームの人材募集を「高山市民時報」と地元情報誌「プレス」で行い、地域外スタッフを2名選出。地域内スタッフは、役員会で人選し1名選出、事務局長を加えた4名による企画・支援チームを設置した。 <p>【平成31年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画支援チームに協議会長も加わり5名体制として、より幅広い意見を反映できる体制とした。 企画・支援チームが、各事業及び各会議に出席して各委員会やまち協本部に対して、新規事業の提案、既存事業についての課題の提起や改革などの具体的な提言を行う。 <p>【提言…次年度まち協で改革に着手すべきテーマ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域事業の人材を活かした(講座・サークル・イベント)に対する支援方法 ②地域の交流の場である「サロン」の開設に向け、空き家対策も考慮に入れた候補地の選定 ③地域の人に地元をもっともらうため「空町まち歩きマップ」の制作・発行 <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、空町の課題に合った先進地視察研修を行い、研修内容を提言に生かす。 <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「企画・支援チーム」が、各事業及び各会議(常任委員会など)に出席し、引き続き、各委員会やまち協本部に対して、新規事業の提案、3大行事などの既存事業についての課題の提起や改革などの具体的な提言を行うこととしていたが、今年度は行事がほぼ中止となり、事業への参加や提言ができなかったため、来年度に再度行う。 昨年度提起した3つのテーマに対して、確実に事業が進捗するよう助言を行った。 <ol style="list-style-type: none"> ① 地域事業の支援事業を開始、コロナ禍のなかで、新しく1つのサークルへの支援を追加した。 ②サロンの開設は計画が具体化し、令和4年度の開設を予定。 ③「空町まち歩きマップ」を制作し、地域内の全家庭、旅館やお店、市内の観光施設などに配布した。来年度も改訂版の発行を予定。 役員、組織のスリム化、役員の専従化などの組織改革について協議した。年度末までに役員の削減と2年任期を柱とする第1次案をまとめ、役員会に報告した。今後すべての委員会や町内会の意見を踏まえ、令和5年度から施行できるように理解と検討を加える 		

	<p>《本来ならば令和4年度の施行を目指したが、コロナの影響で各町内会の総会などの決定機関を開催できないことによる(町内会会則の変更が必要なため)》</p> <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画支援チームの会議を2回開催。(5/9、3/29) ・組織改革について 各町内会からの意見を踏まえ、最終案を提示する予定であったが、コロナの関係で各町内の意見集約が遅れ、最終案の提示に至らなかった(一部の町内会からは意見の提出があった)。 ・サロンの利用についての検討は、拠点整備事業の進捗が遅れ、利用について検討するまでに至らなかった。 ・事業見直しについては、委員会や行事に参加して議論を進めることとしていたが、多くが中止になり実施に至らなかった。 <p>※経費の全額を協働のまちづくり事業に係る支援金で対応。</p>
6. 事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・組織改革について、すでに今までは見られないほどの様々な意見がでて、議論が活発化し、組織改革案を提示することができた。 ・平成31年度の提言(地域団体の支援事業など)を具体化することができた。 ・行事がほぼ中止となり、事業への参加や提言はできなかったが、アンケートの内容や結果について協議し、今後の事業の在り方を考えることができた。 ・令和3年度では、組織改革についての各町内の意見集約をほぼ終わることができた。 ・サロンについては、様々な年代層から期待や希望が多く寄せられた。
7. 今後の見通し・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・組織改革について、今後、様々な意見を集約し、令和5年度から施行できるように進める。これからの時代に即した組織を作り上げることにより、あまり無理をしなくても済む体制を確立してゆきたい。 ・サロンの開設は、地域の交流の場としての活用が基本であるが、空町地域にとって様々な可能性を秘めた事業であり、まち協へのかかわり方や関心が高まることを期待されるため、引き続き助言を求め。 ・3大行事や、各委員会事業の在り方について協議し、改革に向けた提言を行う。 <p>組織改革は、令和5年度からの運用について目処が立つところまでできており、地域の状況を踏まえた持続性のある成案を得たい。</p> <p>事務局移転とサロンの開設については、諸問題をクリアし、早急に解説ができるように知恵を出し合って進めてゆきたい。</p>

事業実施内容

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
5月9日	会議	第1回企画会議 ・組織改革のスケジュールについて協議 ・サロンの開設に向けての進め方などについて協議	全員参加(6名)
3月29日	会議	第2回企画会議 ・令和4年度…チーム継続についての説明とお願い。 ・令和4年度のスケジュールについて	全員参加(6名)

令和3年度 収支決算書（モデル的事業）

【収 入】

単位：円

区 分	変更前予算書	補正額	変更後予算額	収支決算額	差引額	内 訳
市 補 助 金	200,000	△ 200,000	0	0	0	協働のまちづくり支援金 （モデル的事業）
自 主 財 源	0	0	0	0	0	
合 計	200,000	△ 200,000	0	0	0	

【支 出】

単位：円

事業・科目	当初予算額		補正額		変更後 予算額		決算額		差引額		内 訳
		支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額	
運営費	200,000	200,000	△ 200,000	△ 200,000	0	0	0	0	0	0	
人件費	184,800	184,800	△ 184,800	△ 184,800	0	0	0	0	0	0	
需用費	15,200	15,200	△ 15,200	△ 15,200	0	0	0	0	0	0	
合 計	200,000	200,000	△ 200,000	△ 200,000	0	0	0	0	0	0	

※経費の全額を協働のまちづくり事業に係る支援金で対応